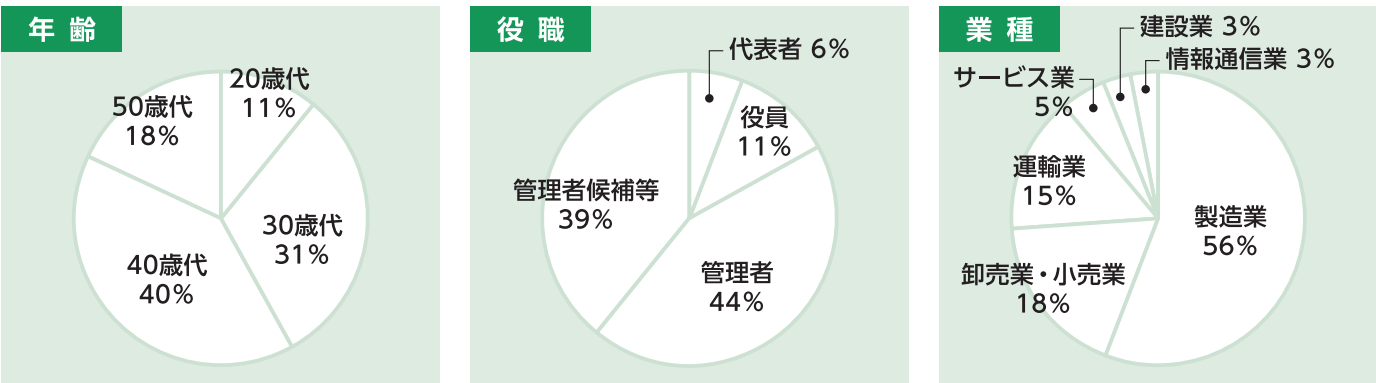


集え、次世代の経営管理者

受講者の内訳(過去3年)



学び合い、支え合い、成長し合う 60日間の大学校生活で得られたもの

不安から一歩踏み出した先に、確かな成長がありました。

受講前、多くの方が「ついていけるか不安」「1週間も業務を離られるのか」と口を揃えます。しかし、実際に受講してみると——「知らないことを学びに来ている」「仲間も同じ不安を抱えていた」と気づき、気づけば“前向きな挑戦”に変わっていきます。「もっと堅苦しいと思っていたけど、和気あいあいと学べたのが一番のギャップでした。」「不安しかなかったけど、今は“受けてよかった”という気持ちしかありません。」

一緒に学ぶ仲間の存在が、最大の財産に。

異業種・異立場の受講者たちと過ごす60日間。議論を重ね、悩みを共有し、刺激し合う中で「自分も負けていられない」と奮い立たされます。利害関係のない“本音で話せる同期”の存在は、多くの方にとって大きな支えとなりました。「立場も会社も違うけれど、同じように悩み、成長していく姿に勇気をもらった。」「同期がいたから最後までやり切れた。大人になってからできた最高の仲間。」

経営の視点、そして人間的な成長を手に入れる。

研修を終えた後に得られるのは、知識やスキルだけではありません。「学ぶことの大切さ」「伝える力」「自分を見つめ直す視点」など、今後の経営や人生を支える“確かな軸”が身についたという声が多く寄せられています。「自社の財務分析や経営戦略を自分の手で立てられるようになった。」「知らないことを堂々と学ぶ勇気を得た。」「得たものが多すぎて書ききれません。人生においてかけがえのない仲間ができました。」

迷っている今こそ、変化のチャンスです。

最初の一步を踏み出す勇気が、必ずあなたの成長につながります。不安を共有できる仲間がいて、支え合いながら挑戦できる環境がここに。

ビジネス街のまん中で ビジネスの王道を学ぶ

駅近で便利な立地もイチオシ！

〒541-0052
大阪府大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング17階
大阪メトロ 地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から徒歩2分
地下鉄御堂筋線・中央線「本町」駅 から徒歩5分



割引制度のある周辺の宿泊施設のご案内

● ダイワロイネットホテル 大阪堺筋本町 PREMIER TEL: 06-4256-0655	当校より徒歩3分
● ホテルマイステイズ御堂筋本町 TEL: 06-7652-5370 TEL: 03-6866-4343 (法人問合)	当校より徒歩3分
● ホテルマイステイズ堺筋本町 TEL: 06-7711-3939 TEL: 03-6866-4343 (法人問合)	当校より徒歩7分
● アパホテル御堂筋本町駅東 TEL: 06-6203-8711	当校より徒歩3分
● くれたけイン大阪堺筋本町 TEL: 06-6241-2511	当校より徒歩3分
● くれたけイン大阪御堂筋本町 TEL: 06-6251-0311	当校より徒歩10分

※2025年11月時点

周辺外の宿泊施設のご案内

中小企業大学校関西校の研修にご参加される方は、一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)が運営する関西研修センター内の宿泊施設をご利用いただけます。

宿泊料金

シングル(税込) 8,500円／泊 (2025年11月時点)

アクセス

〒558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7番5号
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」(4番出口)徒歩10分
JR阪和線「杉本町駅」(東口)徒歩10分
※「あびこ駅」から関西校の最寄り駅「本町駅」までは1本で乗車時間約20分です。

受講申込みの流れ

- HPから申込み** <https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/>
中小企業大学校関西校ホームページの各研修ページよりお申込みください。

関西校
- 確認メール** 申込みが完了しますと、「事務連絡先担当者」のメールアドレスに、確認メールが送信されます。
- 受講決定通知書送付** 開講のおおむね1か月前に「受講決定通知書」が送付されます。受講料のお振込みのご案内、カリキュラム等が同封されます。
- 受講料振込** 所定の期日までに受講料をお振込みください。
- 受講当日** 研修開始時間までに会場にお越しください。

第46期 企業の未来をつくるリーダーへ！

経営管理者研修

2026
10/5
開講



- 実務・現場で活かす実践力を磨く
- 受講者自身が考え、実行する参加型研修
- ゼミナールでの個別指導

卒業生1,200名超 実績ある経営後継者・幹部養成プログラム



ねらい

固定概念を打ち破り、新たに独創的な価値を創る経営革新を牽引する【経営管理者】を目指す！

次世代の経営者・幹部候補・後継者を対象に、経営全体を見渡す視点と、経営管理者に必要なとなる幅広い知識やマネジメントの実践法などについて、総合的かつ体系的に習得するカリキュラムです。

特徴

1	経営を任せられる人材を育てたい企業に	戦略立案・数値管理・人材育成・組織マネジメントなど、実務直結の内容を総合的に学習。経営管理の知識・手法だけでなく、マネジメントに必要な思考や実践力が身につきます。
2	異業種の仲間と築くネットワーク	各地域から集まる経営幹部・後継者と深く学び合い、研修後も続く強固なネットワークが形成されます。単なる交流にとどまらず、共に学び合った仲間は“竹馬の友”のように、長く支え合える存在になります。
3	現場で活かせる実践的カリキュラム	演習やディスカッションを通じて、自社の経営体質の改善・強化策、そして発展的な未来の創造「経営革新プラン」を作成します。



研修方法

経営幹部として必要な経営管理の知識を体系的に理解し、実践的に学べるように設定しています。

参加型	豊富な演習やグループ討議を通じて、受講者自身が主体的に考えながら進める「参加型」の研修
実践的	毎月5日間ずつ受講するインターバル開講により、受講しやすく、また、学んだことを自社で確認・応用しながら体得できる「実践的」なコース設定
課題可決型	専門家が指導するゼミナールを中心に、受講者それぞれの課題に応じた実務的できめ細やかな個別指導を行う「課題解決型」研修

カリキュラムの概要

経営全体の基礎から応用までを3つのステップで徹底して学び、経営革新を実現する創造的な発想と主体的なリーダーシップを獲得する！

STEP 1 基礎能力			STEP 2 職務遂行能力・構想力						STEP 3 実践力			到達像																		
経営管理者としての気づき・意識付け・意識改革ができる			経営管理者に必要な管理手法を修得するとともに、自社・自部門の現状や問題が把握できる、問題を解決して自社・自部門を高めていく						経営管理者に必要な実行力、対応力を身につける			経営革新を牽引する 管理者へ成長する																		
10月 5(月)～9(金)		11月 9(月)～13(金)		12月 7(月)～11(金)		1月 18(月)～22(金)		2月 15(月)～19(金)		3月 8(月)～12(金)			4月 5(月)～9(金)		5月 10(月)～14(金)		6月 7(月)～11(金)		7月 5(月)～9(金)		8月 2(月)～6(金)		9月 6(月)～10(金)							
自己革新への取組み		企業経営と経営管理		経営管理者の能力開発		経営戦略の策定プロセス		自社の強みと財務状況		経営戦略の立案			利益・資金計画の策定		マーケティング思考		リスクマネジメントと生産性向上		組織マネジメントと企業法務		自社での実践準備		成果創出に向けて							
メンバーとチームの力を引き出す		現状把握に役立つ問題発見の考え方		数値から見える経営状況の仮説と検証		経営戦略立案に向けた現状分析		自社の強み抽出と市場ニーズ探索		企業ビジョンの策定と戦略立案			事業計画の実現に向けた組織づくり		経営管理者総合演習		リスクマネジメントと生産性向上		部下を育て組織・チームを動かす		経営管理者に求められる判断力		経営管理者に必要なデジタル化の進め方							
経営管理者としての自己理解		財務分析の基礎知識		ビジネスゲーム		企業理念の浸透と組織文化の醸成		財務分析と対策(演習)		事業計画の策定手法			利益計画・資金計画の策定(演習)		マーケティング思考		リスクマネジメント 生産性改善と組織改革・現場力向上		企業法務の基礎知識		研究課題の実現性検証(演習)		経営管理者としてのコンディショニングづくり 課題研究報告会発表資料作成							
ゼミナールオリエンテーション																														
講義・内容																														
ゼミナール			各自が経営課題を設定し、講師の個別指導のもと、課題研究に取り組みます。																											
																														
			自社革新への取組み												ゼミナール論文骨子構築・中間発表								自社革新プランの策定(発表)							
			ゼミ①		ゼミ②		ゼミ③		ゼミ④		ゼミ⑤⑥		ゼミ⑦		ゼミ⑧⑨		ゼミ⑩⑪		ゼミ⑫											
			自身・自社の戦略策定、課題対応策の進め方		事業環境分析とビジョン立案		ビジョン立案と戦略の構築		戦略の構築		課題研究の中間発表 課題への対応の実現策		課題対応策の具体化		課題研究の具体化 目標実現のための行動計画		目標実現のための行動計画まとめ		課題研究の発表 (課題研究報告会)											
																														

ゼミナールについて

- ・受講者が直面している自社の課題や今後の経営戦略について、ゼミナール内でのディスカッションや講師の個別指導を通して、具体的かつ実践的に深めていきます。
- ・受講者全員が、いずれかのゼミナールに所属し、学習を進めます。

課題研究分野の例	経営戦略	マーケティング
	人材マネジメント	組織マネジメント
	ものづくり経営	など

経験豊富なゼミナール講師陣

中小企業の現場経験を重視して選んだ“熱意あふれる”講師陣が、1人1人の成長をサポートします！



ゼミ名

人的資本を活かすための戦略とマネジメント

伊豆田 功

㈱アイムサプライ 代表取締役 経営学と経営経験を活かした独自のスタイルで、コンサルティング業務や、次世代のリーダー的人材の育成業務など幅広く活躍。中小企業診断士。



ゼミ名

現場改善・組織変革

内海 政嘉

内海経営事務所代表 約100社の業務改善や組織改革に取り組む(中小企業診断士、ISO9001,14001審査補)。各種公的支援機関の経営アドバイザー歴任。



ゼミ名

成長戦略・経営革新

太田 一樹

大阪商業大学(大学院)教授博士(経営学)、中小企業診断士。中小企業庁や大阪府など公的機関の委員に就任。



ゼミ名

成長戦略

折原 浩

㈱ディセンダー代表取締役 中小企業庁、農林水産省、経済産業省など各種委員を歴任。2,000社以上の経営革新支援の実績を持つ。



ゼミ名

10年先のものづくり戦略

宮地 隆

㈱大三経営事務所 代表取締役 中小企業診断士。中小製造業向けのコンサルタントとして300社超の経営支援、100回超の講義経験を持つ。社員11名の中小企業経営者でもある。


研修生活のひとコマ・・・次代を担う経営管理者の”絆”が生まれる1年！

この研修では、経営管理者として必要な知識と実践力を体系的に学びながら、業種や世代を超えた仲間とのつながりが生まれます。ゼミ活動やイベントを通じて、受講生同士が深く交流し、信頼関係を築くことで、学びがより実践的なものとなります。通い型のキャンパスでも、寝食を共にしたような絆が育まれ、卒業後も続くネットワークが形成されるのが本研修の大きな魅力です。

過去開催

課題締切間近のボウリング大会!!


ゼミ活動では自社課題の研究を行います。この日は一旦忘れてリフレッシュ!先生方も交えて大変盛り上がりしました!



過去開催

韮公園でのお花見!

4月には近くの韮公園で花見!あいにくの雨模様でしたが、逆に思い出に残る花見となりました!



派遣元企業、受講者の声

派遣元企業の声

- 自社のあらゆる課題を洗い出し、計画的に解決策を講じ、組織全体の意識改革に取り組むことができるようになった。
- 受講したメンバーとの情報共有が促進され、経営幹部としてのKPIとKGIの区切が明確になり、アウトプットの数字だけではなく、プロセスの管理に目が届くようになった。
- 研修で交流を深めた仲間との交流が続いており、お互いのビジネスの悩みや相談ができる相手ができ、良い刺激になっている。
- 生産効率と安全性を高めるプロジェクト等において、現場リーダーとして中心的役割を担って活動するようになった。

受講者の声

- 財務分析やマーケティングなどの講義で、会社組織としてどのように動いていけばよいのか学びました。そして会社を動かすための組織力をもっと上げたいと強く感じるようになりました。若い人たちをもっと巻き込んで、同じ方向を向く仲間として一緒に活動したいと思っています。
- 日常業務から離れ、長期間、研修に没頭できる環境に身を置く機会を得られたことは幸運でしたし、その環境を与えて頂いた皆様には感謝しています。同じ目標を持って、真面目に、面白おかしく研修生活を送り、同じ時間を共有できた仲間(同期生)との出会いは私にとって大きな財産となりました。

応募のご案内

受講対象者

中小企業の後継者・経営幹部、経営管理者候補の方

研修期間

2026年10月5日(月)～
2027年9月10日(金)

研修時間の目安

9:30～16:30 もしくは、17:30
(6～7時間※昼休憩1時間を除く)

定員 30名

受講料 557,000円(教材費含む・税込)

特記事項

カリキュラムには、自社課題を分析する科目(演習)があり、事前課題や分析に必要な社内資料等をご用意いただく場合があります。貴社内のご理解とご協力をお願い致します。各種演習やレポート作成のため、受講にあたってはノートパソコンをご持参いただくこととなりますので準備ください。

【人材開発支援助成金】が活用できます。

会社全体で職業訓練実施計画を作成し、訓練開始日の6カ月前から1か月前までの間に管轄労働局に提出する必要があります。この助成金は受講料や訓練期間中の賃金の一部が助成され、経営管理者研修の場合、50万円程度受給された例もあります。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。